トヨタ純正

リモートスタート（キーフリーシステム付車用）取付要領書

このたびは、トヨタ純正リモートスタート（キーフリーシステム付車用）をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書は、リモートスタート（キーフリーシステム付車用）の取付要領について記載してあります。
取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
【別紙の取扱書は、必ずお客様にお渡しください。】

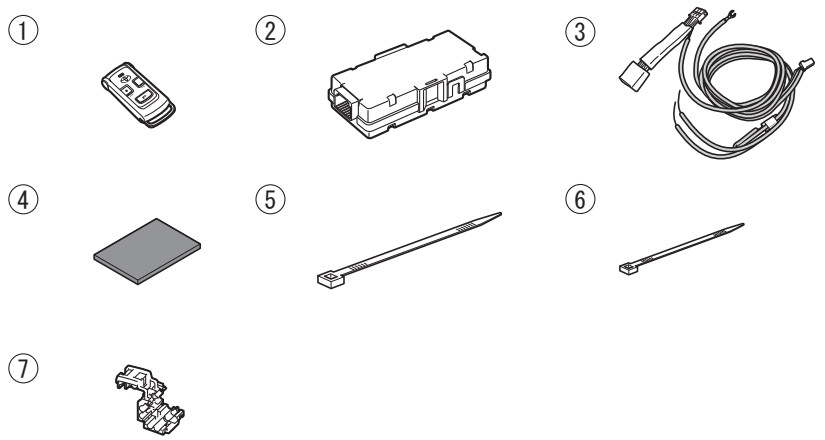
品　　番

・取付後にGTSによる登録作業が必要です。
・登録方法については、販売店ゲートウェイ内に掲載しています。

品　　番	085A0-B1130

構　成　部　品　名

【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください】



No.	品　名	個数	補修品有無
①	リモコン（電池内蔵×2）	1	有
②	コントローラー	1	有
③	ハーネス	1	有
④	スポンジテープ	2	無
⑤	クランプ（大）	1	無
⑥	クランプ（小）	14	無
⑦	エレクトロタップ	3	無
	取付要領書（WEB）	1	無
	取扱書（WEB）	1	無

品名及び補修品番

【各補修品を交換した場合、登録作業が必要となります。】
登録方法については、サービス資料をご参照ください。

No.	品　　名	補修品番	個数	備考
①	リモコン	085A2-B1040	1	電池含む。
②	コントローラー	085A2-B5030	1	————
③	ハーネス	085A3-B1030	1	————

使用工具・用意するもの

一般工具、ハサミ、ペーパーウェス、脱脂剤等、ビニールテープ、保護テープ、ドライヤー等

トヨタ自動車株式会社

ZZ113-01475-A1

取り付け上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠注意 ･･･ 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。

アドバイス ･･･ スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

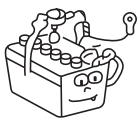
1. 本文中の **⚠注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし **⚠注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
2. 取付作業を容易に進行するために **アドバイス** をお読みください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
4. 電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー (−) 端子をはずしてください。
5. 作業前にパーキングブレーキが掛かっている事を確認してください。
6. ラゲージルーム内にバッテリーが搭載されている車両はバッテリー (−) 端子をはずした状態でバックドアを閉めると再度バッテリー (−) 端子を接続しないと開かなくなりますので注意してください。

取り付ける前に

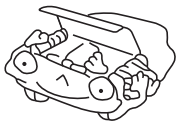
・車両のドアロック、パワーウインド、ランプ、ホーン、ワイパー等の装置が正常に作動するか確認しておく。



・必ず、バッテリーの(−)ケーブルはずしてから作業を行う。

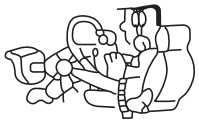


・大切な車を守るために必要部分にカバーを取り付ける。

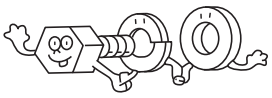


部品の取り付けは

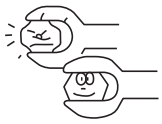
・運転のじゃまや、居住性をそこなわない場所を選ぶ。



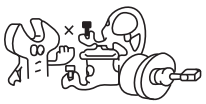
・ボルト、ナットの締め付けは必ず規定のものを使用する。



・ボルト、ナットの締め付けには寸法のあった工具を使用し、トルク指示のあるものはトルクレンチを使用する。



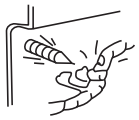
・車両のボルト、ナットなどを使用して共締めする場合、ステアリングやブレーキ燃料系など重要部品のものには使用しない。



・締め付けを行う際、ワイヤーハーネスなど挟み込んでいないことを確認してから行う。

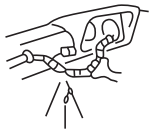


・取り付け穴をあける場合、必ず裏側に何もないことを確認すること。

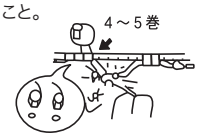


配線は

・車両のワイヤーハーネスはコネクターのかん合不良や損傷防止のため引っ張るなど力をかけないこと。



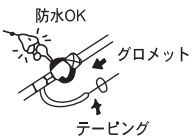
・配線作業時にコネクターなどはブラブラしないように幹線にテープ巻きするかクランプなどを使用して固定すること。



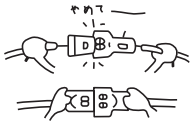
・ワイヤーハーネスは取付部品での噛み込み、板金エッジ可動部品、樹脂パリと干渉しない場所を配線し、確実に固定すること。



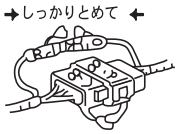
・室外から室内への配線にはグロメットを使用する等確実な防水対策を施すこと。



・コネクターをはずす場合はコネクター本体を持ち、ハーネスを引っ張らないこと。



・コネクターやターミナルは、確実に接続し、必ず確認を行うこと。

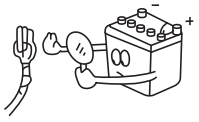


・バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断すること。



取り付けが終わったら

・バッテリーのケーブルを復元する前に配線状態を確認する。



・取り付けた用品の作動確認を行うと同時に、車両の機器、装置が正常に作動することを確認する。



リモコンは



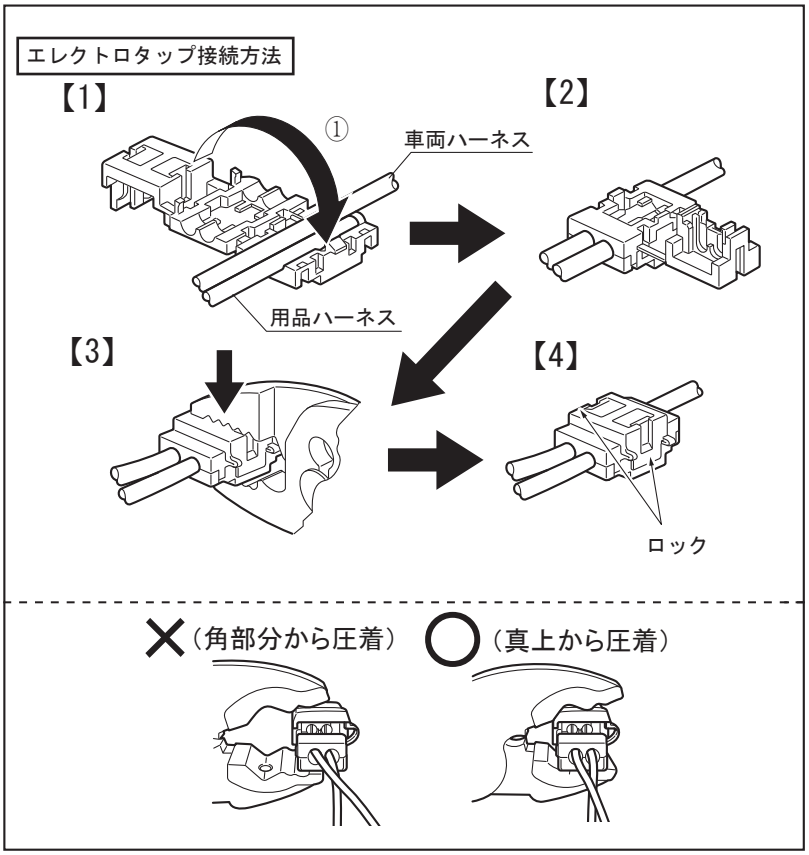
・工具で触れたりしないこと。傷の原因となります。

エレクトロタップの接続方法

エレクトロタップの使用上の注意事項

(1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
(2) エレクトロタップは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
(3) エレクトロタップの接続時に、クリック音と合わせてロックが確実に嵌合した事を確認してください。
(4) 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
(5) 同一コネクターに複数のエレクトロタップを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
(6) ヒンジ部が破損しても確実にロックできれば性能上問題ありません。
(7) 一度使用したエレクトロタップは再使用しないでください。誤って接続した場合、エレクトロタップを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

エレクトロタップの接続手順



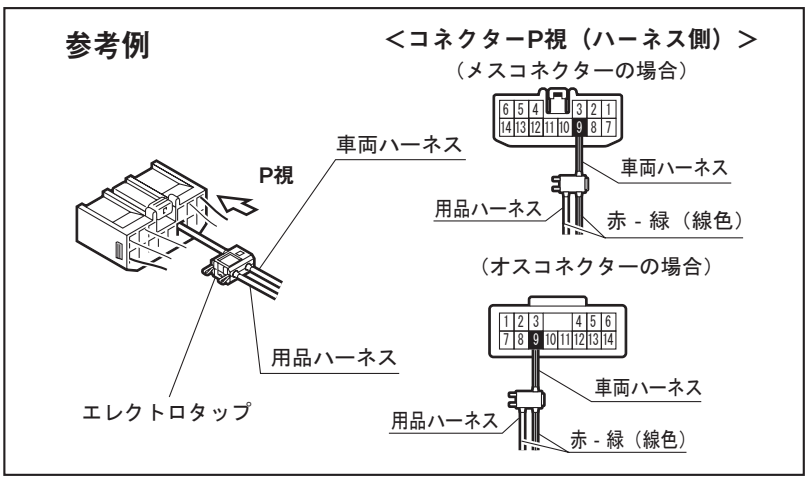
1. 接続する車両側ハーネスに接続スペースが無い場合は、車両側ハーネスの外装（ビニールチューブ、ビニールテープ等）をカットしてください。
2. エレクトロタップの溝にハーネスをセットし【1】、①のようにはめ込み電線を仮固定します【2】。
3. プライヤーで左右ロックが掛かるまで完全に圧着します【3】、【4】。
（クリック音を確認）

⚠注意
・圧着は斜め方向に力が加わらないように確実に行ってください。斜め方向に力が加わった場合、圧着不良となるおそれがあります。

4. エレクトロタップにビニールテープを他の車両ハーネスごと巻き付けてください。

⚠注意
・車両配線色は色が変わることがありますので、念の為配線図集を確認してください。

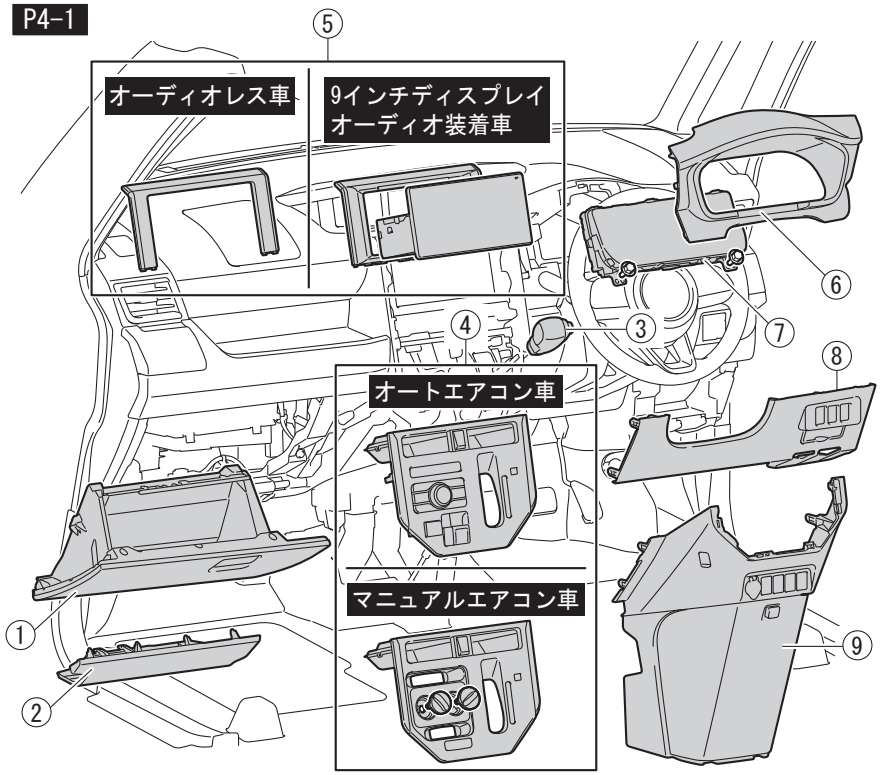
エレクトロタップの接続部の標記について



本文中、エレクトロタップを接続する箇所のコネクターイラストについては、全て参考例のように、**ハーネス側（P視）**から見た標記に統一しています。
コネクターのオス・メス、端子番号を確認の上、正しく接続してください。（参考として、車両及び用品ハーネスの線色も標記しています。）

車両部品の取り外し

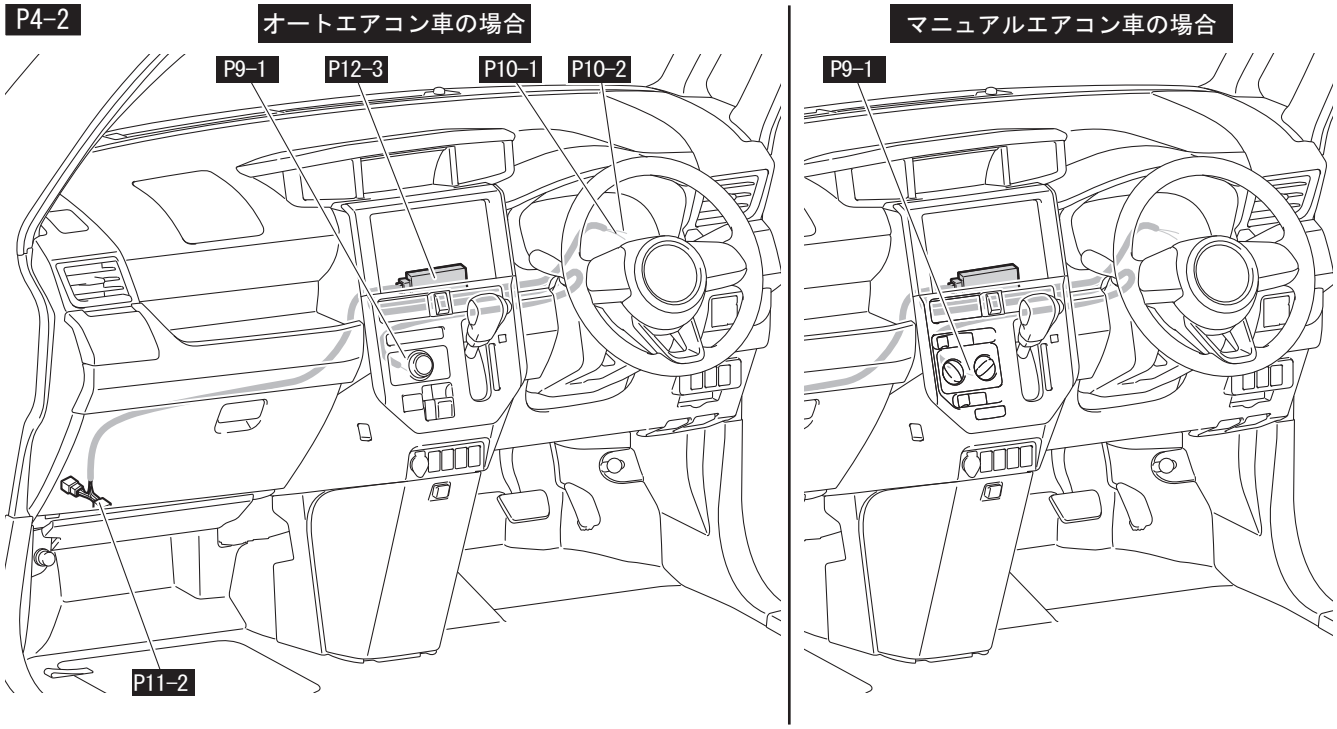
P4-1



No.	取り外し部品名称
①	グローブボックス
②	アンダーカバー
③	シフトレバーノブS/A
④	クラスタフィニッシュパネルロアセンター
⑤	フィニッシュパネル
⑥	スピードメーターカバー
⑦	スピードメーター
⑧	インパネフィニッシュパネルS/Aロア
⑨	フロントコンソール

配　線　概　要

P4-2



P9-1	アースコード
P10-1	常時電源（CANゲートウェイユニット）
P10-2	IG信号（CANゲートウェイユニット）
P11-2	ボデーECU（ジャンクションブロック）
P12-3	コントローラー

アドバイス

P9-1 は、本文の記載と対応しています。

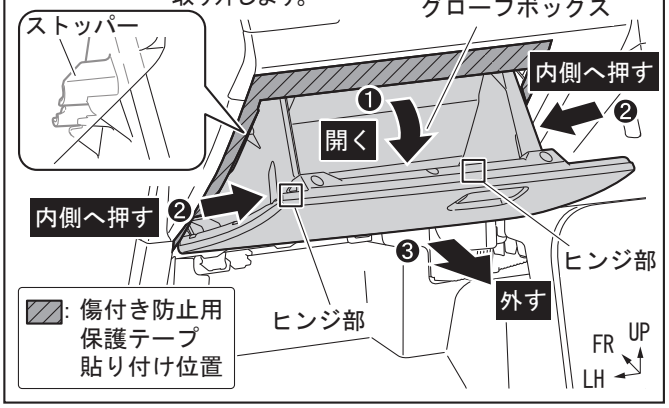
- 記載箇所
- 記載ページ

車両部品の取り外し要領

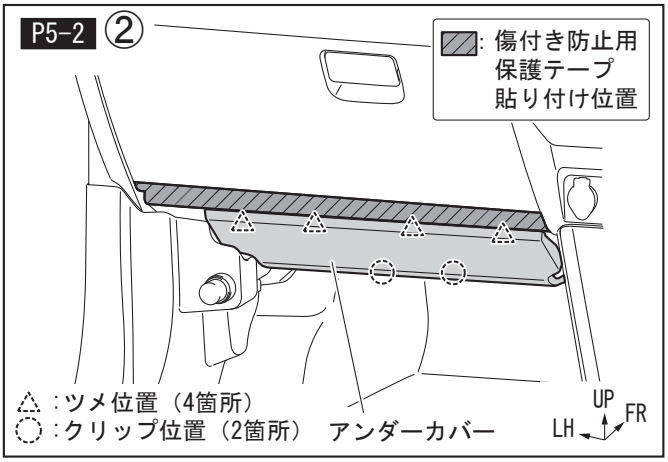
※車両部品の取り外しに必要なコネクターの接続を外してください。

P5-1 ①

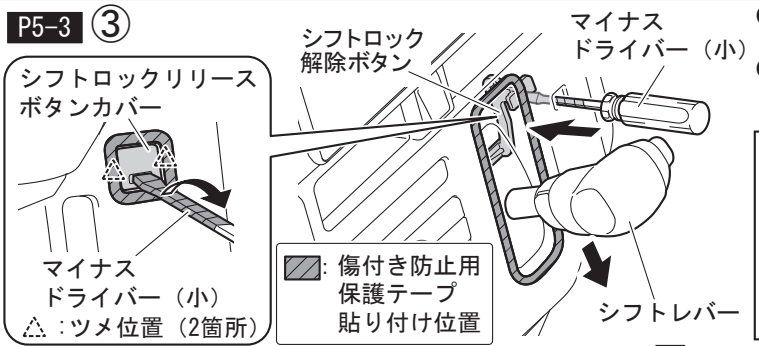
●下記手順を参考に、グローブボックスを取り外します。



P5-2 ②



P5-3 ③



●保護テープを巻いたマイナスドライバー（小）を吹き出しの矢印の方向へ動かし、シフトロックリリースボタンカバーを取り外す。

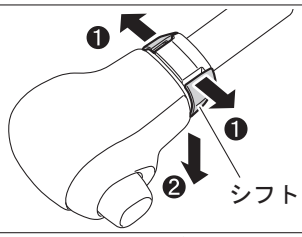
●シフトロック解除ボタンをマイナスドライバー（小）で押しながら、シフトレバーを N ポジションにする。

⚠注意

・電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー（−）端子を外してください。

・作業前にパーキングブレーキが掛かっていることを確認してください。



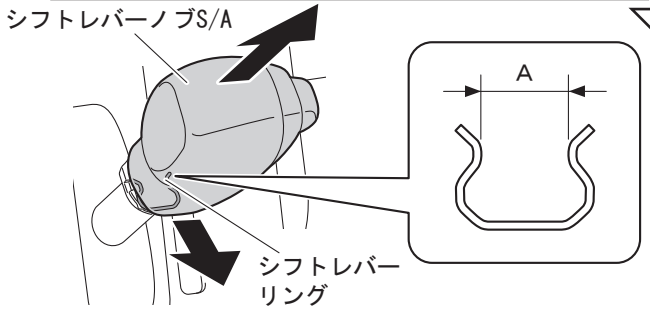


●矢印 ❶の方向にシフトレバーラッチを広げる。

●矢印 ❷の方向にスライドさせてシフトレバーラッチを取り外す。

⚠注意

・シフトレバーラッチの破損の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。



●シフトレバーリングを取りはずし、シフトレバーノブS/Aを取り外す。

⚠注意

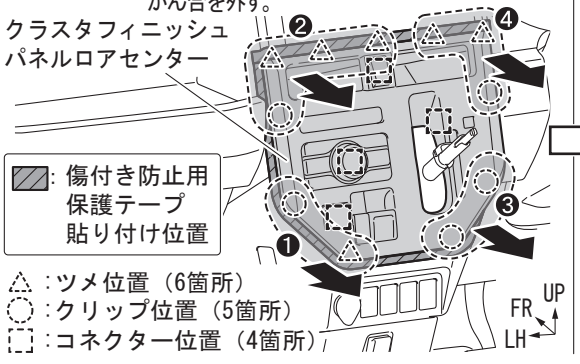
・シフトレバーリング変形の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。

・シフトレバーリングを取り付けた際、図に示すシフトレバーリングの寸法Aを測定してください。
基準：11.9〜12.9㎜
寸法Aが基準値から外れている場合はシフトレバーリングを新品に交換してください。

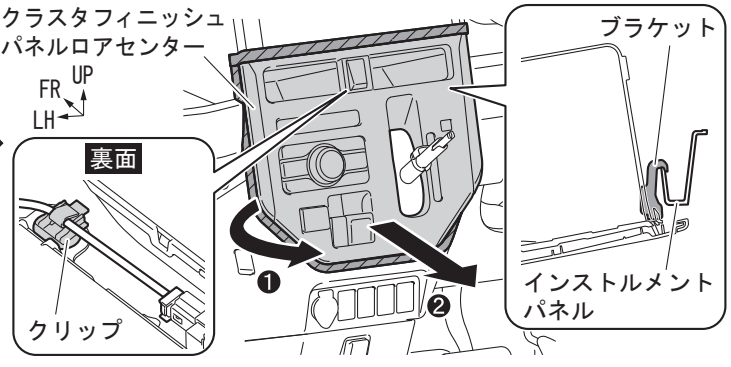
P5-4 ④ オートエアコン車の場合

コネクター取り外し後にクラスタフィニッシュパネルロアセンターを外します

●番号順に矢印の方向へ引き、クリップ及びツメのかん合を外す。



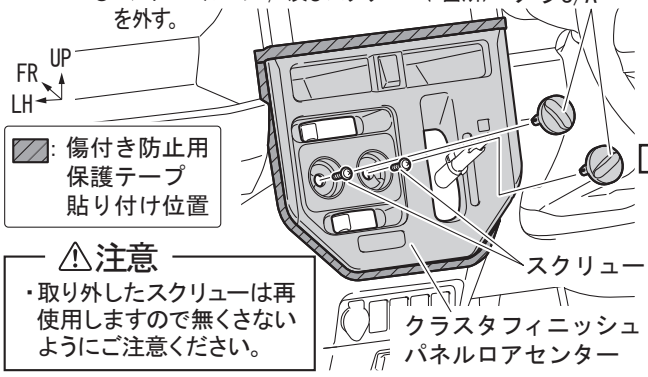
●番号順に矢印の方向へ引き、クラスタフィニッシュパネルロアセンターを外す。



車両部品の取り外し要領

P6-1 ④ マニュアルエアコン車の場合

●コントロールノブS/A及びスクリュー（2箇所）を外す。

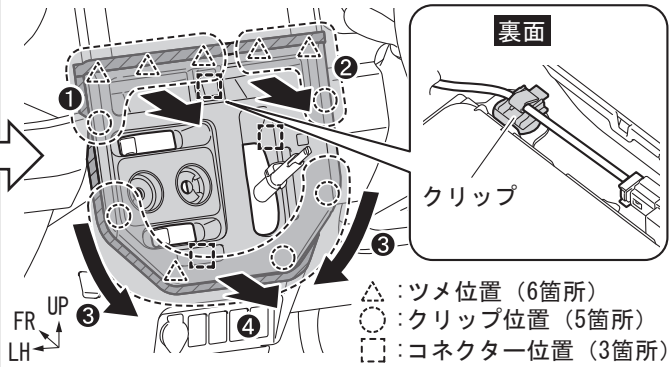


▨：傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

⚠注意
・取り外したスクリューは再使用しますので無くさないようにご注意ください。

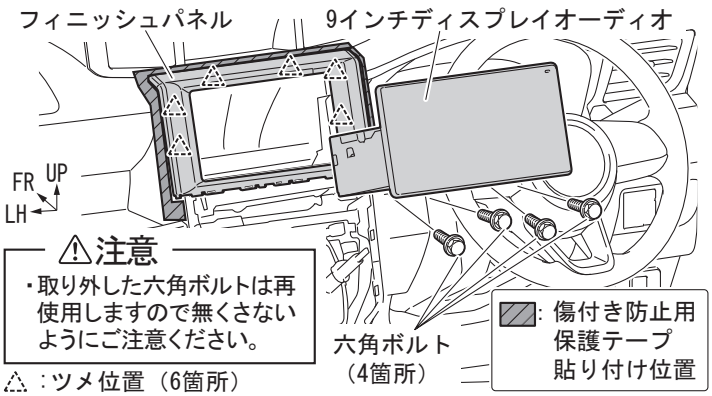
コネクター取り外し後にクラスタフィニッシュパネルロアセンターを外します

●番号順に矢印の方向へ引き、クリップ及びツメのかん合を外す。



△：ツメ位置（6箇所）
○：クリップ位置（5箇所）
⬚：コネクター位置（3箇所）

P6-2 ⑤ 9インチディスプレイオーディオ装着車

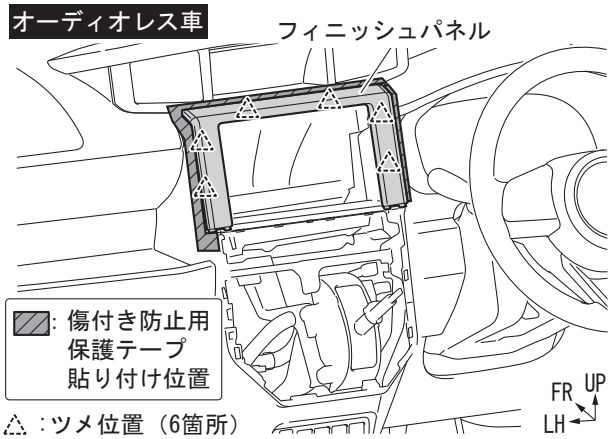


⚠注意
・取り外した六角ボルトは再使用しますので無くさないようにご注意ください。

▨：傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

△：ツメ位置（6箇所）

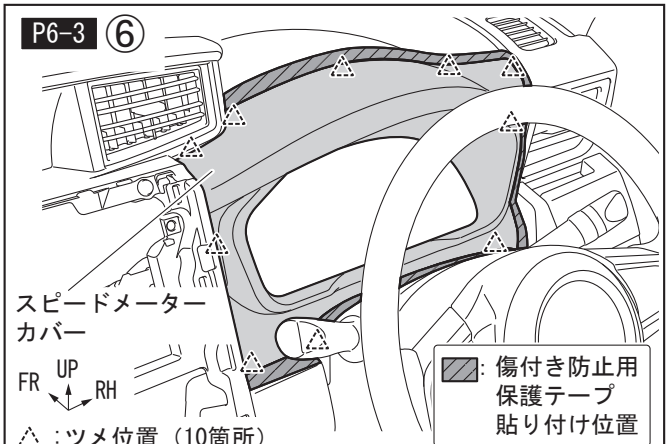
オーディオレス車



▨：傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

△：ツメ位置（6箇所）

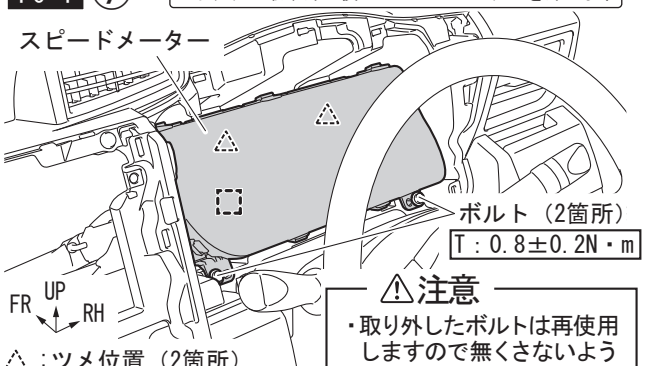
P6-3 ⑥



▨：傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

△：ツメ位置（10箇所）

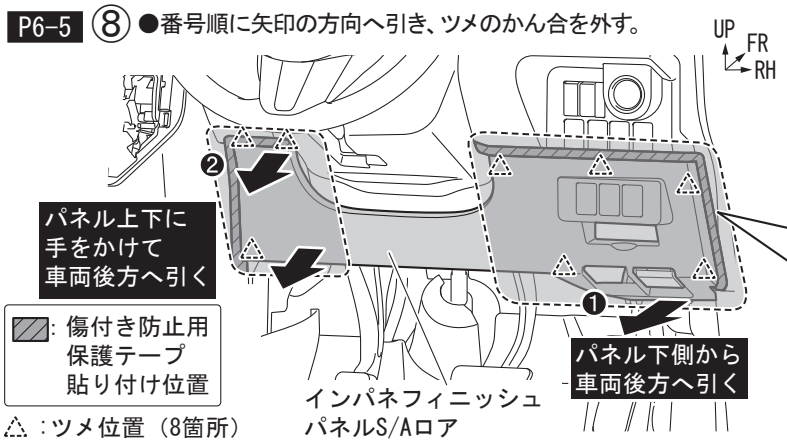
P6-4 ⑦ コネクター取り外し後にスピードメーターを外します



⚠注意
・取り外したボルトは再使用しますので無くさないようにご注意ください。

△：ツメ位置（2箇所）
⬚：コネクター位置（1箇所）

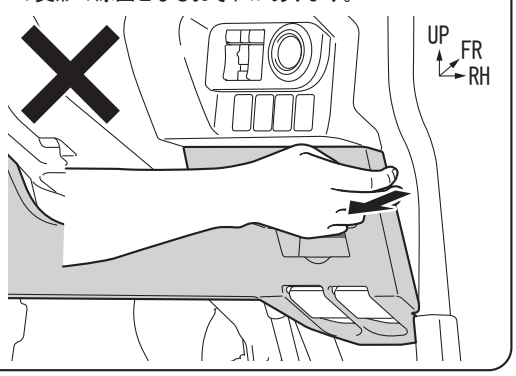
P6-5 ⑧ ●番号順に矢印の方向へ引き、ツメのかん合を外す。



▨：傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

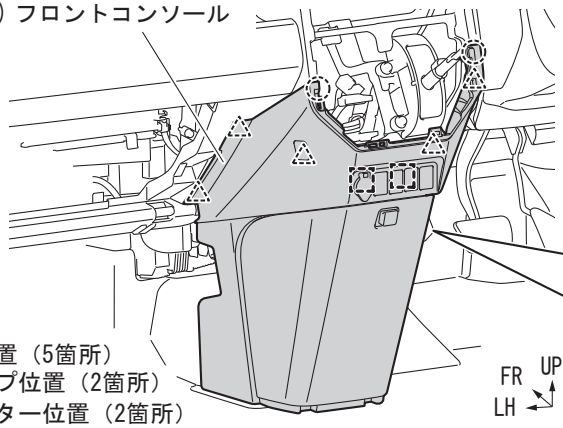
△：ツメ位置（8箇所）

●下図の位置からパネルを引くと、パネルの浮きやパネルの変形の原因となるおそれがあります。



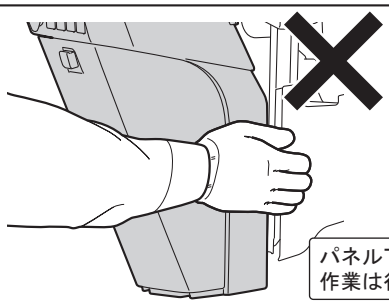
車両部品の取り外し要領

P7-1 ⑨ フロントコンソール



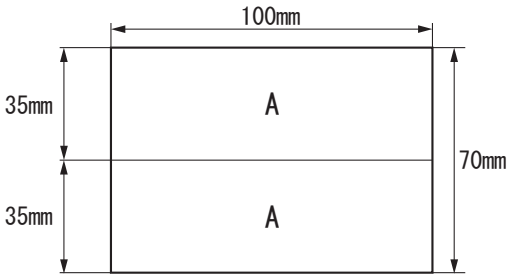
⚠注意

・インストルメントパネルリーンホースメントS/Aと接触し、手指を切るおそれがあるため、軍手等を着用してください。



作　業　前　準　備

P7-2 【④スポンジテープ裁断寸法】



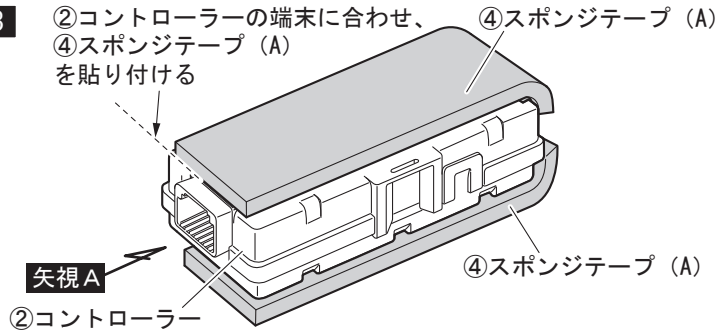
スポンジテープのカット

(1) 左図寸法に④スポンジテープ (1枚) を裁断します。

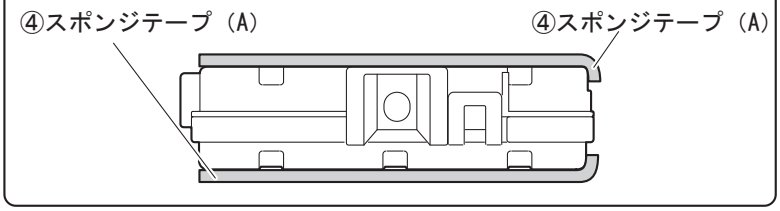
⚠注意

・④スポンジテープ裁断の際は、左図寸法に従い、ズレなどがないように慎重に作業を行ってください。

P7-3



②コントローラー【側面図】

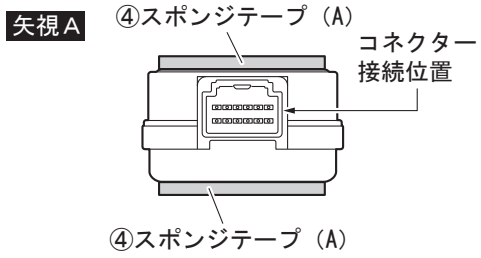


コントローラーの準備

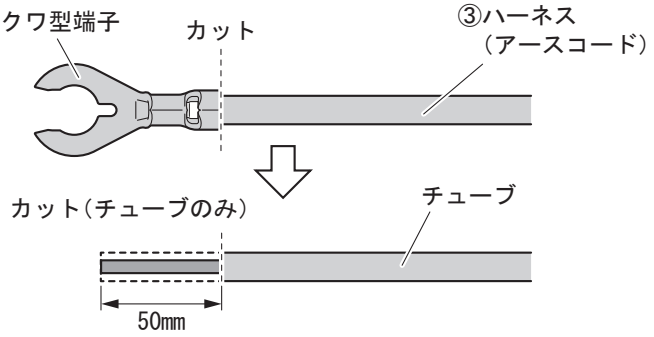
(1) 左図を参照し、②コントローラーを覆うように④スポンジテープ (A) (各1枚) を貼り付けます。

⚠注意

・④スポンジテープでコネクター接続位置が隠れないように貼り付けてください。



P7-4



アースコードの加工

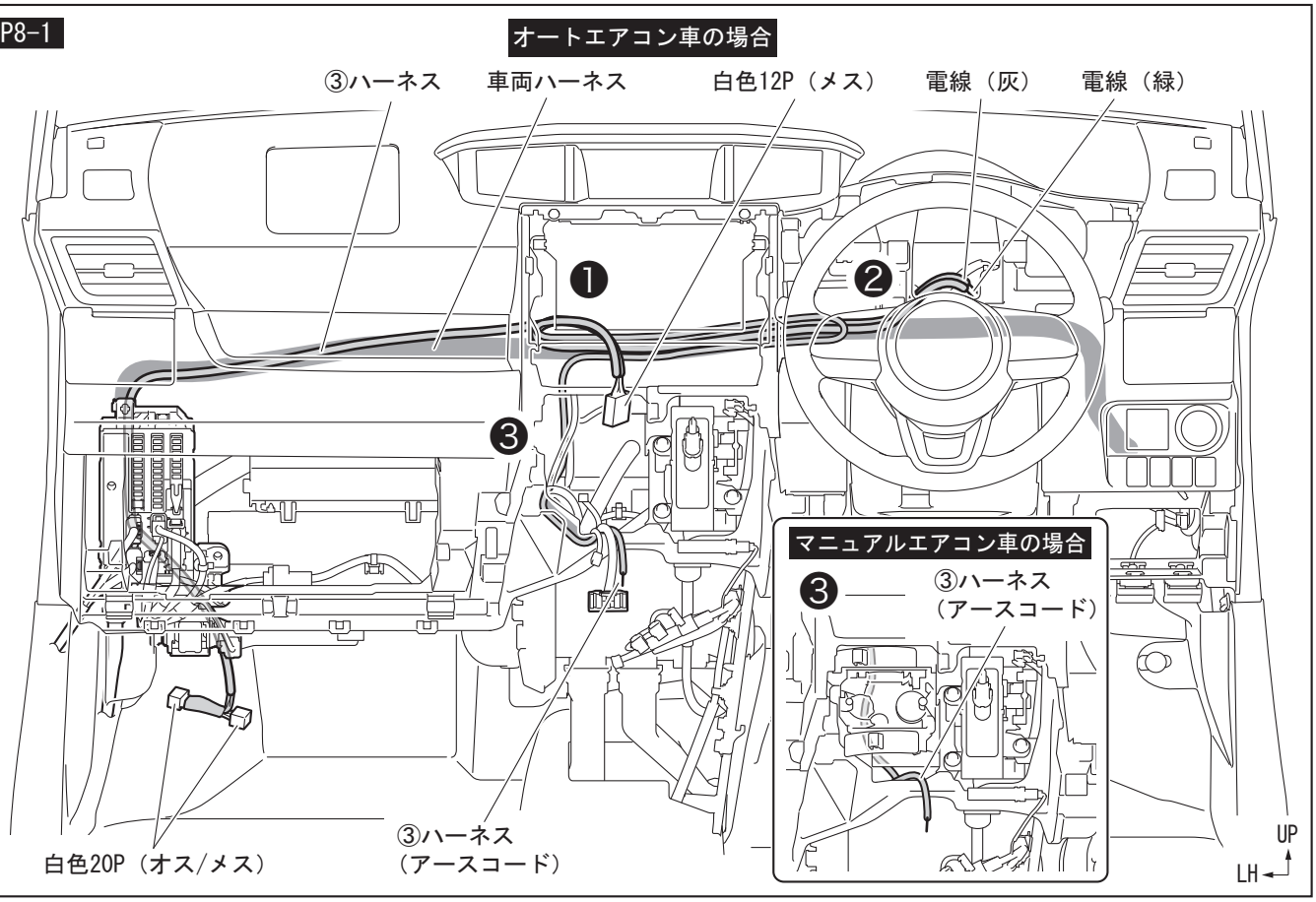
(1) ③ハーネスのアースコードをクワ型端子の根本からハーネスチューブごとカットし、アースコード先端からチューブのみを50mmカットします。

⚠注意

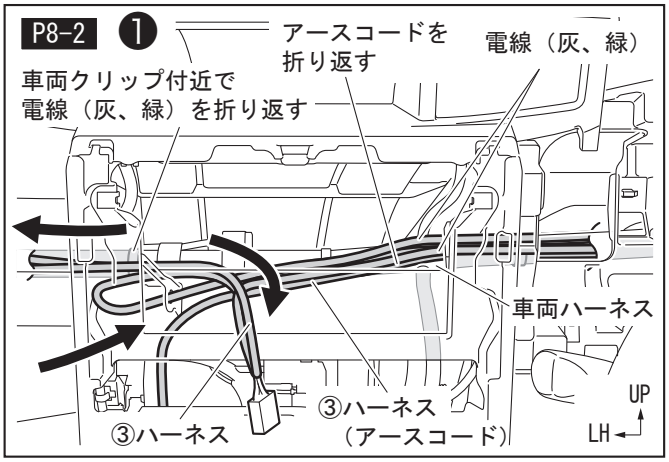
・③ハーネスごとカットせずにチューブのみカットしてください。

ハーネスの仮配線

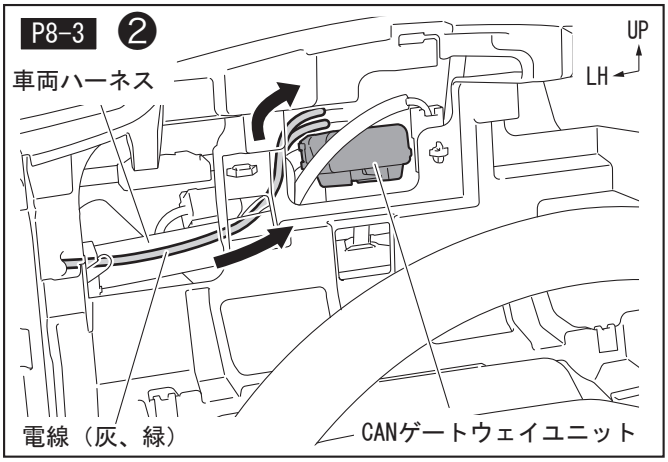
P8-1



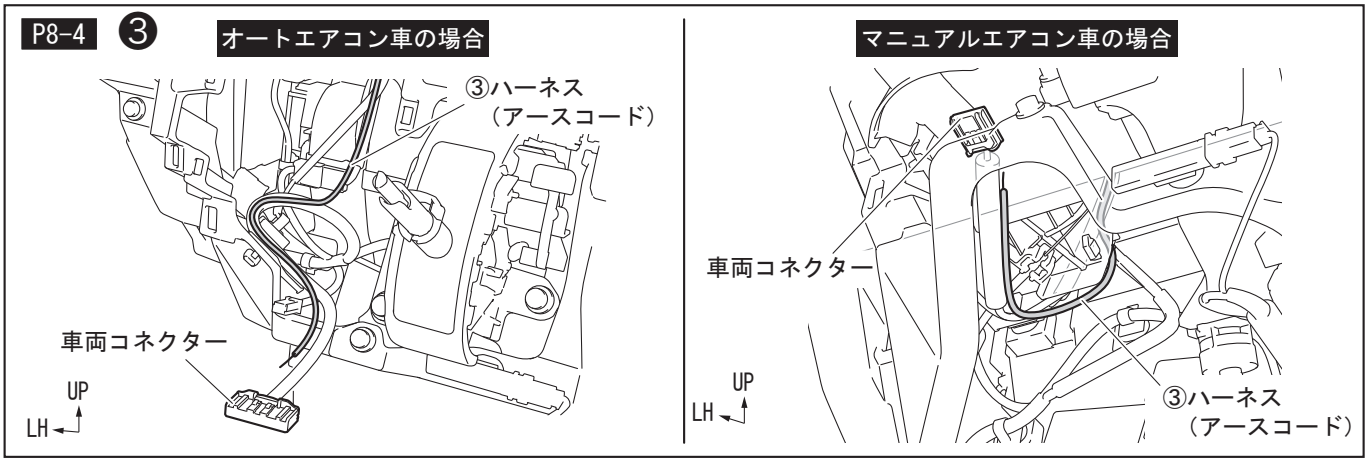
P8-2 ❶



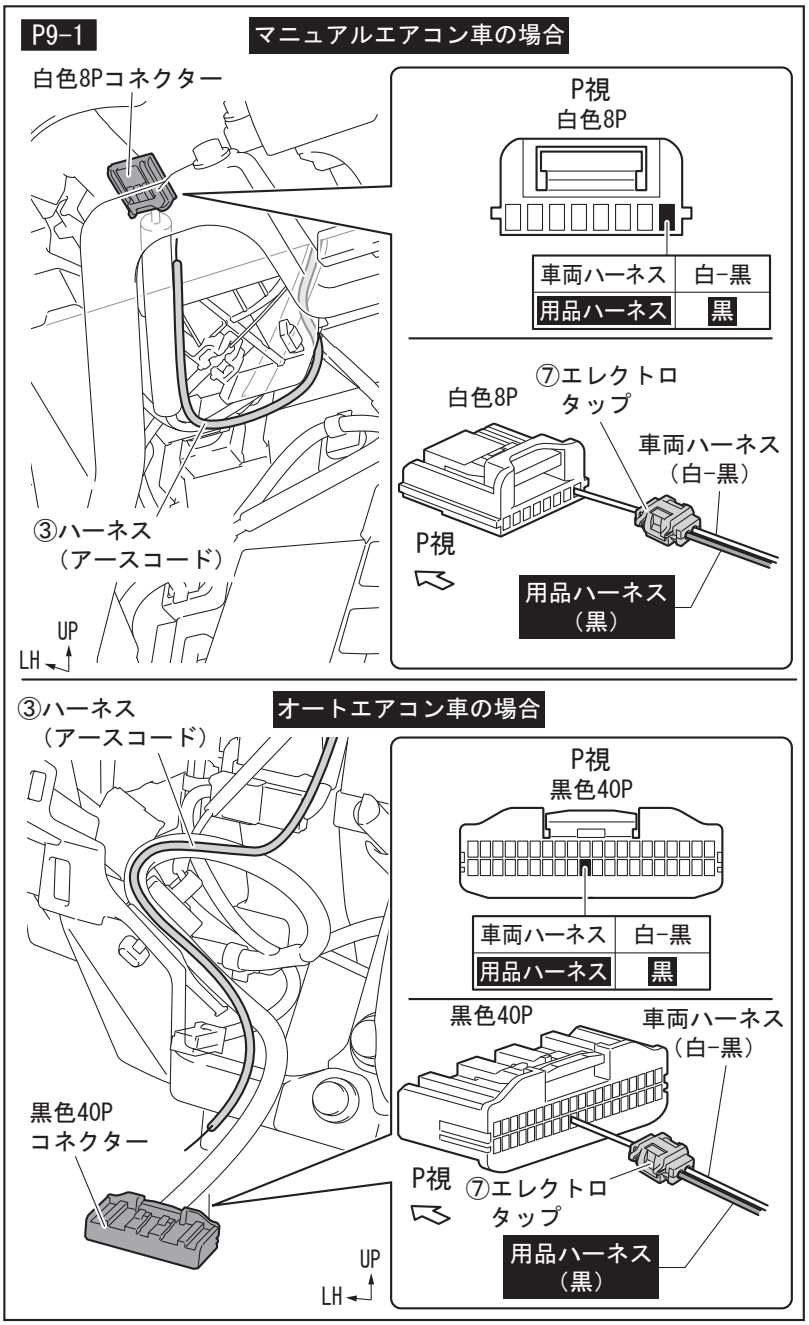
P8-3 ❷



P8-4 ❸



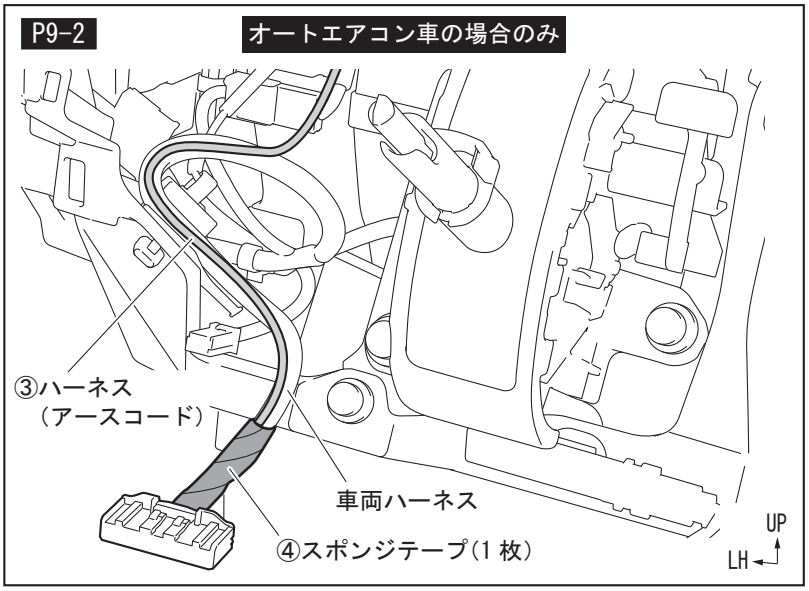
ハーネスの配線



アースコード

(1) ③ハーネスの電線 (黒) を白色8Pコネクターの図の位置【電線 (白-黒) 】に⑦エレクトロタップで接続します。

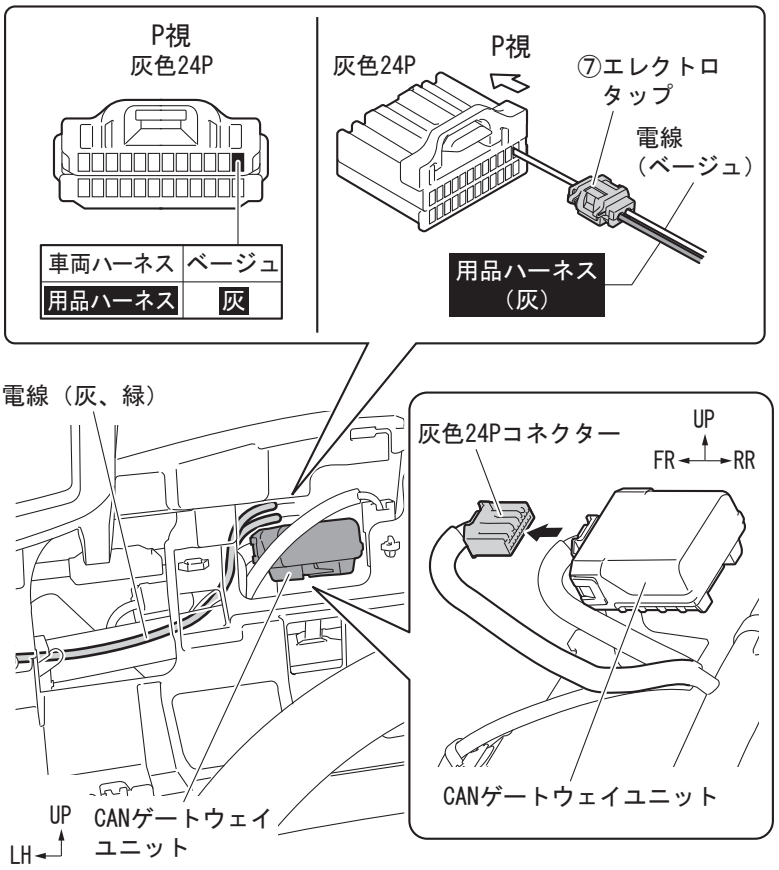
(1) ③ハーネスの電線 (黒) を黒色40Pコネクターの図の位置【電線 (白-黒) 】に⑦エレクトロタップで接続します。



■ オートエアコン車の場合のみ

(2) 接続した⑦エレクトロタップを覆うように④スポンジテープ (1枚) を車両ハーネスに貼り付けます。

P10-1



常時電源（CANゲートウェイユニット）

（1）左図を参照し、CANゲートウェイユニットから灰色24Pコネクターを取り外します。

（2）③ハーネスの電線（灰）を灰色24Pコネクターの図の位置【電線（ベージュ）】に⑦エレクトロタップで接続します。

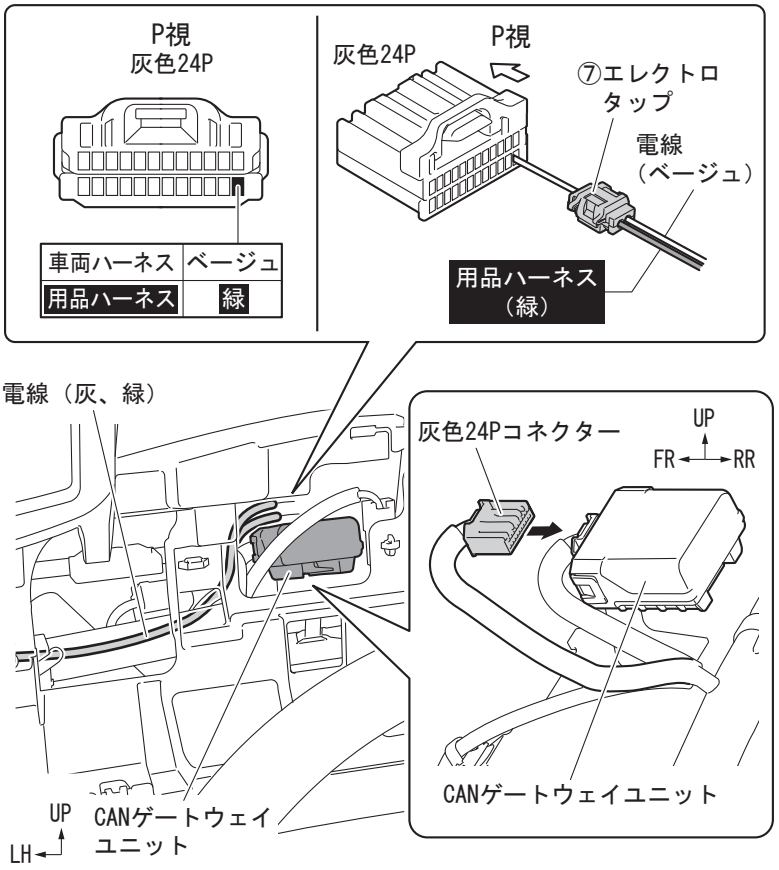
アドバイス

・エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。

⚠注意

・付近に同色電線があるため、接続先に注意してください。

P10-2



IG信号（CANゲートウェイユニット）

（1）③ハーネスの電線（緑）を灰色24Pコネクターの図の位置【電線（ベージュ）】に⑦エレクトロタップで接続します。

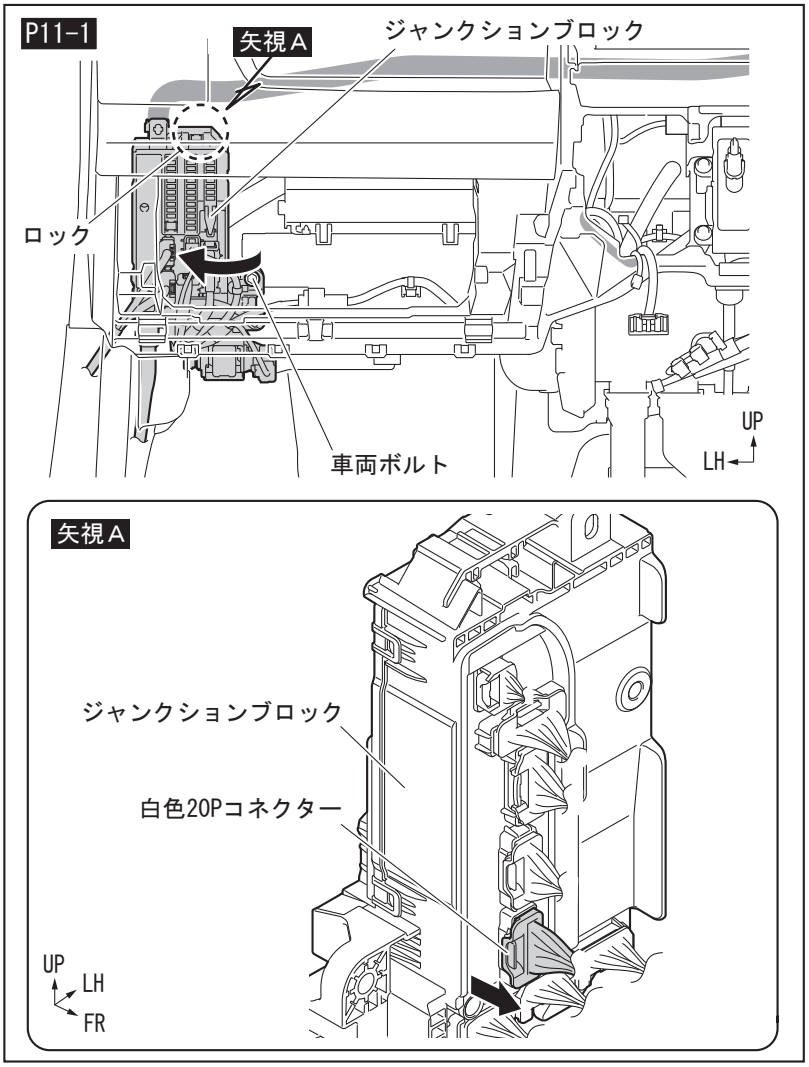
アドバイス

・エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。

⚠注意

・付近に同色電線があるため、接続先に注意してください。

（2）灰色24Pコネクターを復元します。



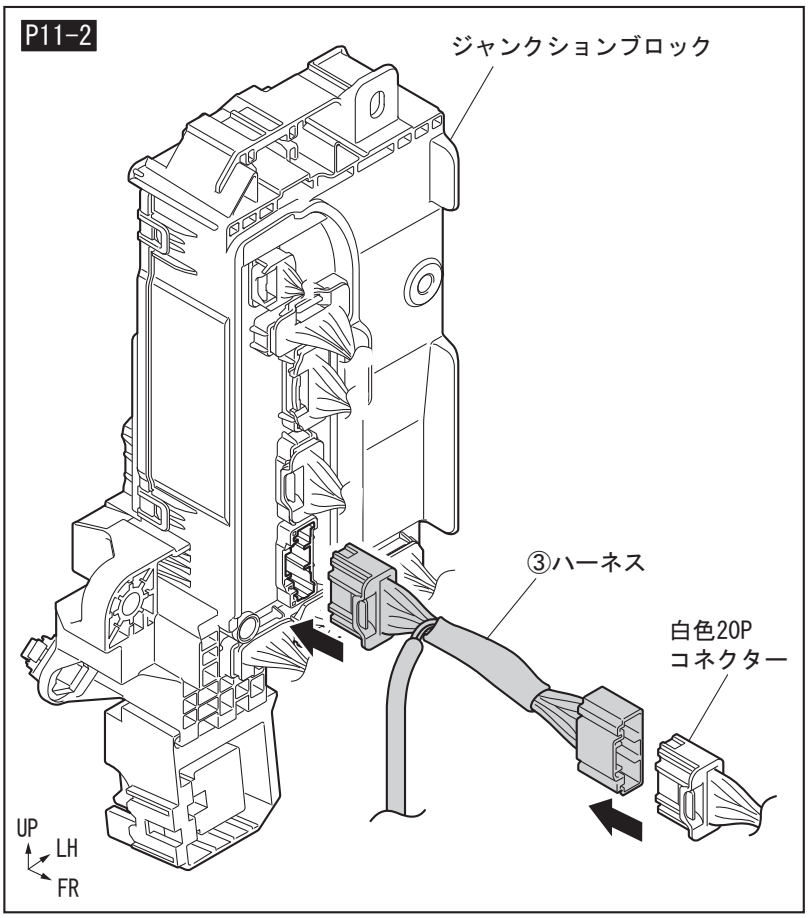
ボデーECU
（ジャンクションブロック）

(1) ジャンクションブロックのボルトおよびロックを外し、ジャンクションブロックを移動させ、作業スペースを確保します。

(2) 左図を参照し、ジャンクションブロック裏側の白色20Pコネクターを取り外します。

⚠注意

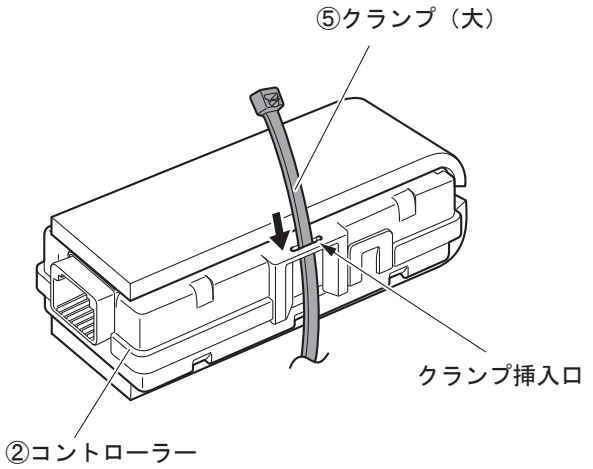
・コネクター取り外しの際は左図を参照し、コネクターの位置を確認してから作業を行ってください。



(3) 取り外した白色20Pコネクターの間に③ハーネスを接続し、ジャンクションブロックを復元します。

コントローラーの取り付け及び接続

P12-1



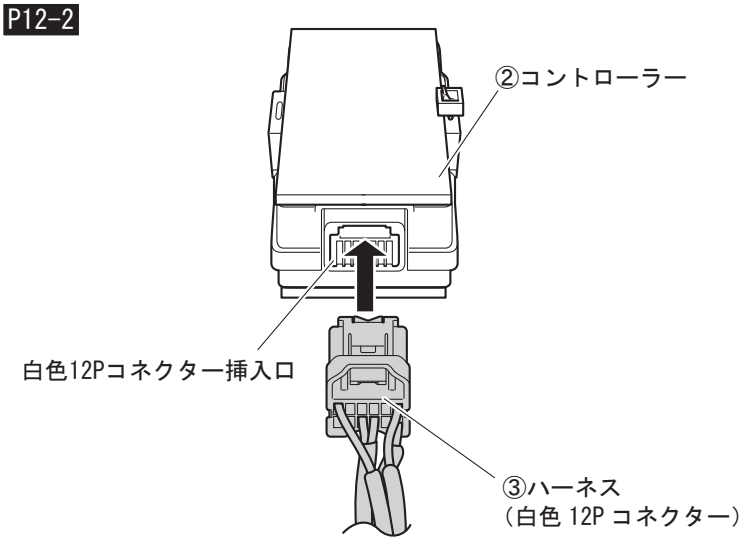
コントローラーの取り付け

(1) 左図を参照し、②コントローラーに⑤クランプ（大）（1本）を通します。

⚠注意

・⑤クランプ（大）（1本）を通す際は向きを間違わないようにご注意ください。

P12-2

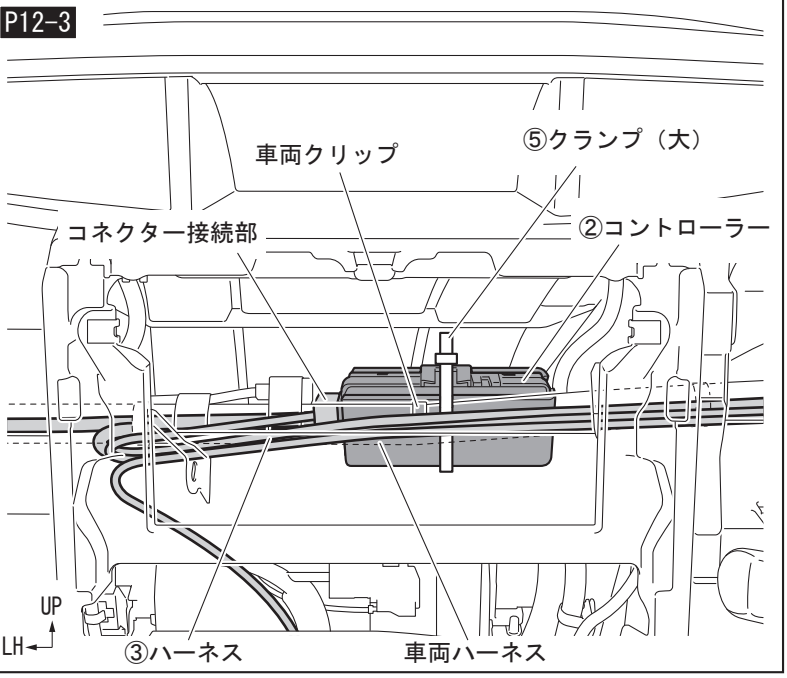


(2) ②コントローラーに③ハーネスの白色12Pコネクターを接続します。

⚠注意

・②コントローラーとコネクターの接続は②コントローラーの取り付け前に行ってください。

P12-3



(3) 左図を参照し、②コントローラーを⑤クランプ（大）（1本）で車両ハーネスに固定します。

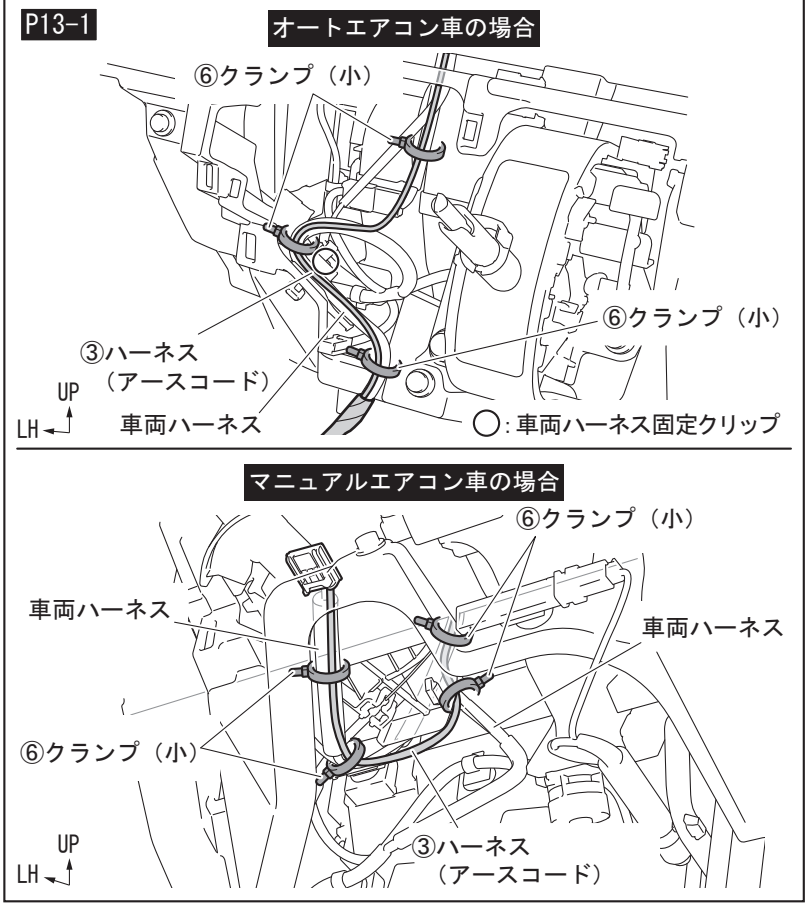
⚠注意

・②コントローラーの取り付けの際は②コントローラーのコネクターの向きに注意して作業を行ってください。

・②コントローラーを取り付ける際、接続されている③ハーネスがステーおよび車両ボルト、エッジに接触しないように注意してください。

ハーネスの固定

P13-1



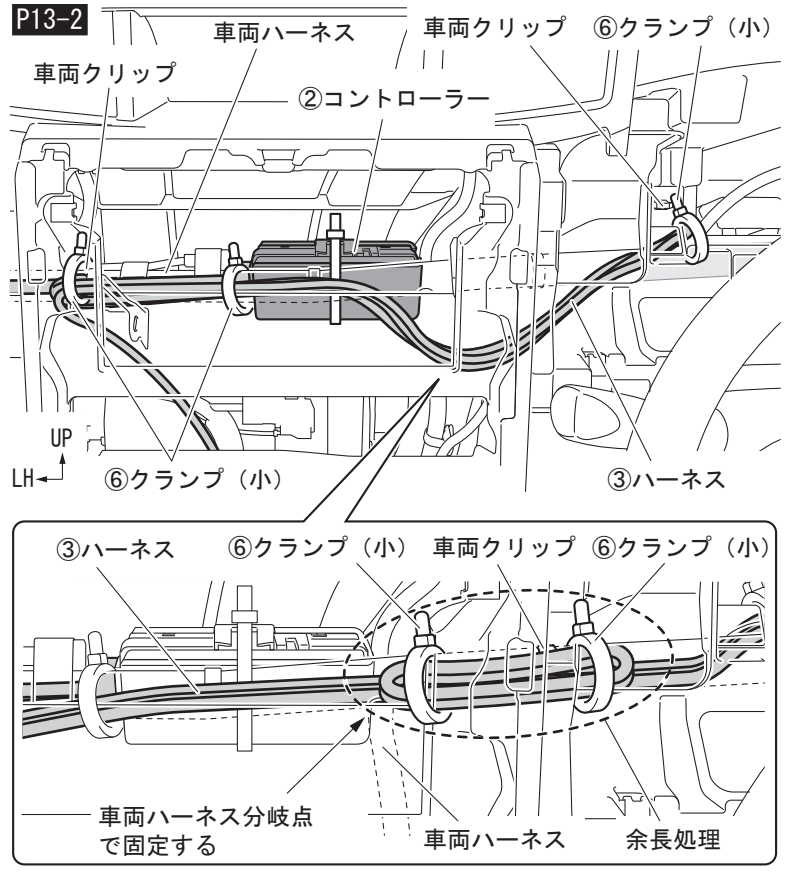
アースコードの固定

⚠注意

・③ハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

(1) 左図を参照し、③ハーネスのアースコードを車両ハーネスに沿って配線し、⑥クランプ（小）（3本または4本）で車両ハーネスに固定します。

P13-2



車両中央部の固定及び余長処理

⚠注意

・③ハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

(1) ③ハーネス及び電線（灰）・（緑）とアースコードを車両ハーネスに沿って配線し、⑥クランプ（小）（1本）で車両ハーネスに固定します。

(2) ③ハーネスのアースコード及び電線（灰）・（緑）を折り返し、車両ハーネスに沿って配線し、⑥クランプ（小）（2本）で車両ハーネスに固定します。

(3) 左図を参照し、③ハーネスのアースコード及び電線（灰）・（緑）の余長分を束ね、⑥クランプ（小）（2本）で車両ハーネスに固定します。

⚠注意

・⑥クランプ（小）固定時は、各ハーネスのはみ出し、噛み込みがないように作業を行ってください。

助手席側の固定及び余長処理

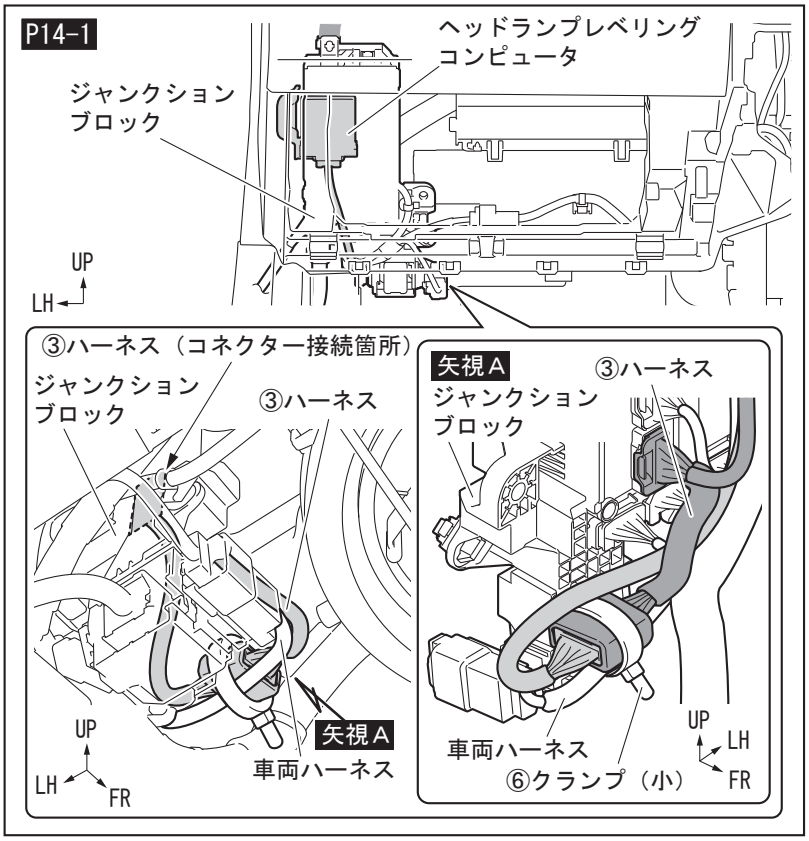
⚠注意

・③ハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

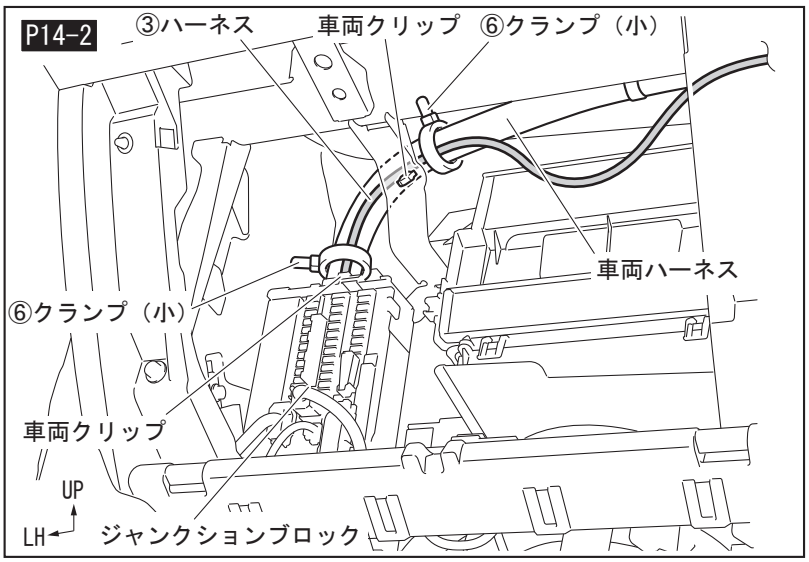
(1) 左図を参照し、③ハーネスのコネクター部をジャンクションブロック裏側の車両ハーネスに⑥クランプ（小）（1本）で固定します。

⚠注意

・作業の際、ヘッドランプレベリングコンピュータに触れないようにご注意ください。



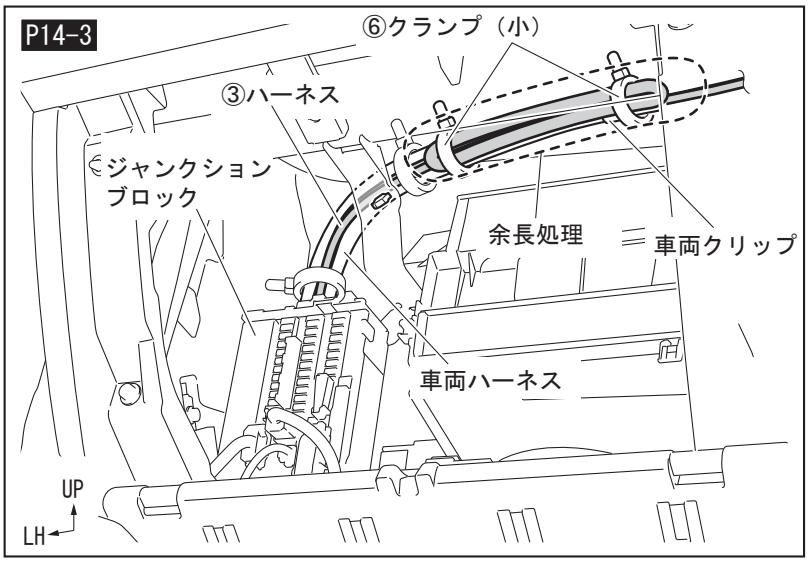
(2) ③ハーネスを車両ハーネスに沿って配線し、⑥クランプ（小）（2本）で車両ハーネスに固定します。



(3) 左図を参照し、③ハーネスの余長分を束ね、車両ハーネスに⑥クランプ（小）（2本）で固定します。

⚠注意

・⑥クランプ（小）固定時は、各ハーネスのはみ出し、噛み込みがないように作業を行ってください。



作　動　確　認

⚠注意

・車両部品のコネクター類は全て仮接続してから作動確認を行ってください。
・作動確認は、換気の良い場所で行ってください。
・作動確認時に、シフトレバーやパーキングブレーキを操作する時には、必ずブレーキペダルを踏んで車両が動かないようにしてください。
・エンジン始動できない場合は、一度ドアを開→閉としてから、再度始動操作をしてください。
・燃料残量警告灯が点灯している場合は、リモートスタートは作動しません。この場合は、給油を行うか下記方法で作動確認を行ってください。

燃料残量警告灯点灯時の作動確認方法

・運転席側のドアを開けた状態で、30秒以内にエンジン（イグニッション）スイッチをOFF→ACC→ON→OFF→ACC→ON→OFFの手順で操作した後、10秒以内に運転席側のドアを閉めてリモコンでエンジンスタート操作を行ってください。（本操作で、燃料残量警告灯に連動する制御が一時的に無効になりますが、一旦、エンジンを停止すると再び有効になります。）

アドバイス

・作動確認時にエンジン始動等できない場合は、車両の確認、入出力信号チェックを行ってください。

［リモコンの操作方法およびLEDの点灯仕様は取扱書を参照］

メーターのコネクターなど車両部品のコネクター類が全て接続されている事を確認します。

（1）リモートスタートハーネスの接続確認を行います。

1）コントローラーにリモートスタートハーネスのコネクターが接続されていることを確認します。

2）バッテリー（−）端子を接続します。
コントローラーのブザーが1回鳴ります。

アドバイス

・バッテリー（−）端子を再接続する場合は、バッテリーの（−）端子を外してから10秒以上間隔を空けてから行ってください。

YES

（2）リモートスタートの登録を行います。
販売店ゲートウェイ内に掲載された登録方法を参照し、リモートスタートの登録を行います。
登録は正常に完了しましたか？

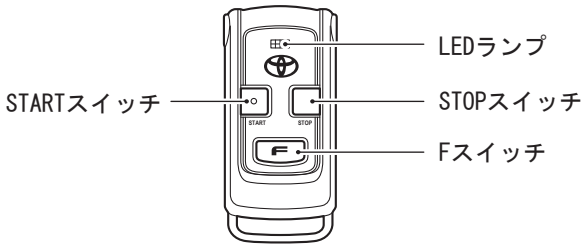
YES　⇩ NO

Ｃ＆Ａ事業部発行
『トヨタ純正（用品）リモートスタートサービス資料(ルーミー)キーフリーシステム装着車両用』に従い点検を実施してください。

（3）車両を下記の状態にします。
・運転席の窓を開ける
・シフトレバーを「P」の位置にする
・パーキングブレーキを掛ける
・メーターの燃料残量警告灯が点灯していないことを確認する
・イグニッションスイッチを「OFF」の状態にする
・プッシュスタートスイッチから指を離す
・全てのドアを閉める（バックドアを含む）
・ボンネットを閉める

（4）運転席ドアを開け、リモコンキーを車外へ持ち出し、運転席ドアを閉めます。

右記（5）へ



左記（4）から

（5）リモコンでエンジンスタート操作をします。
エンジンは始動しますか？

YES　⇩ NO

Ｃ＆Ａ事業部発行
『トヨタ純正（用品）リモートスタートサービス資料(ルーミー)キーフリーシステム装着車両用』に従い点検を実施してください。

（6）リモコンでエンジンストップ操作をします。
エンジンは停止しますか？

YES　⇩ NO

Ｃ＆Ａ事業部発行
『トヨタ純正（用品）リモートスタートサービス資料(ルーミー)キーフリーシステム装着車両用』に従い点検を実施してください。

（7）リモコンでエンジン始動後、エンジン暖機中にプッシュスタートスイッチを押すとエンジンは停止しますか？

YES　⇩ NO

車両の整備を行ってください

（8）リモコンでエンジン始動後、エンジン暖機中にドアを開けるとエンジンは停止しますか？
（各ドアで確認）

YES　⇩ NO

車両の整備を行ってください

作動確認終了

復　元　作　業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

⚠注意

・復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

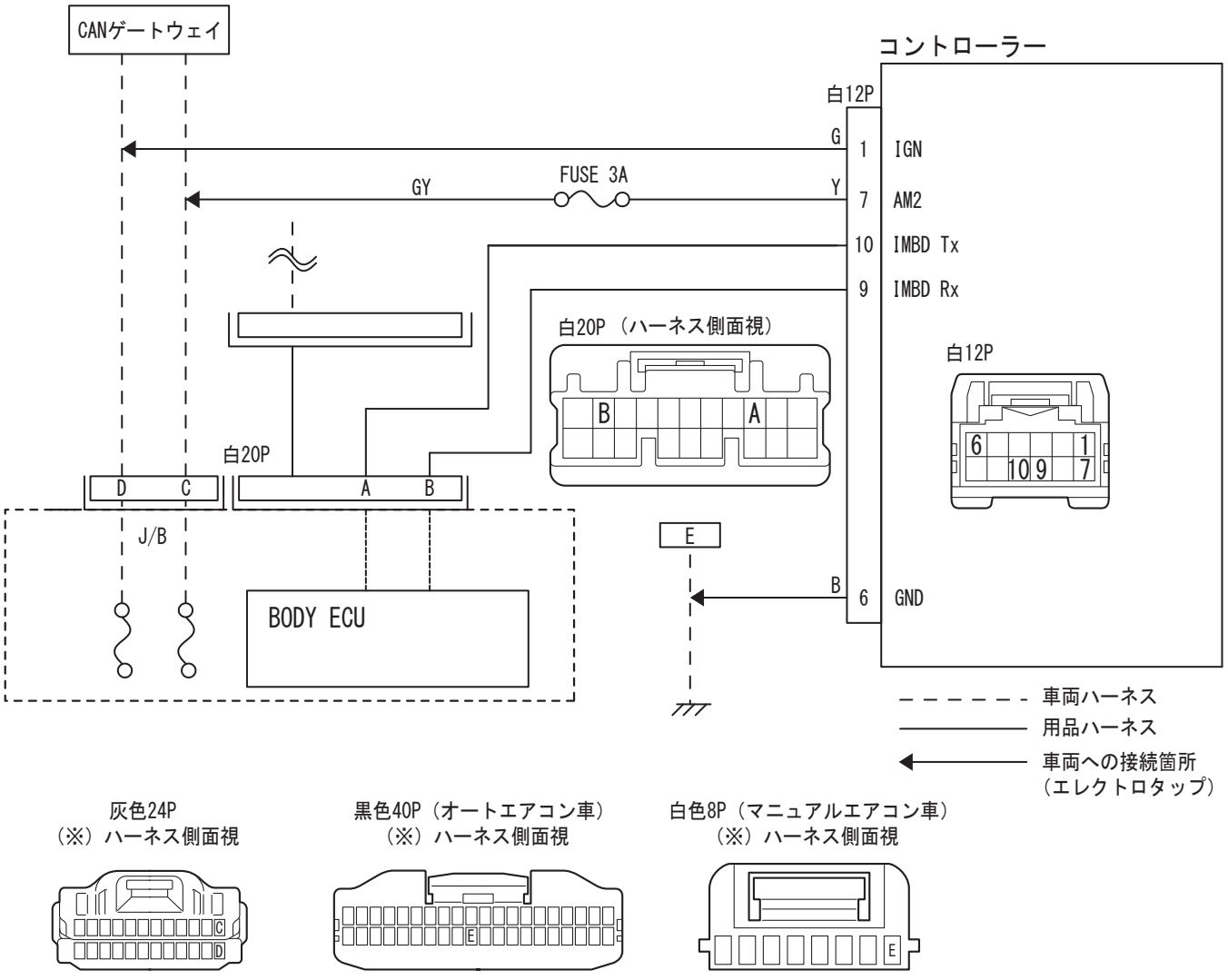
バッテリー復元時の注意事項

・バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

最　終　確　認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常がないか確認してください。

配　線　図



灰色24P
（※）ハーネス側面視

黒色40P（オートエアコン車）
（※）ハーネス側面視

白色8P（マニュアルエアコン車）
（※）ハーネス側面視